

令和6年度 公民科「公共」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	2年 1、2、3、4、5、6、7、8組
教科書	公共（実教出版）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる 技能を身に付ける。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4	「公共」学習についてのオリエンテーション	・高校の社会全般についての概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「公共」学習の意義や内容、評価の方法、情報の集め方及びレポートのまとめ方などを理解する。 ・現代社会に関する課題を様々な観点から追究し、現代社会への関心を高め、いかに生きるかを考える。 ・資源・エネルギー問題は、古い情報で満足せず、最新の動向を踏まえながら、現状と将来的な展望について理解させ、考える。 	テストなどの成績、課題プリント及び学習への取り組み状況で評価します。 グループワークを通じての態度・発表・活動を評価します。	
	5	第1部「公共」の とびら 第1, 2, 3章				
			中間考査			
	6	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主主義と私たち 第2章 法の働きと私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期と自己形成の課題 ・自己形成と社会への参画 ・功利主義と幸福の原理 ・義務論と公正の原理 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特質と社会生活の変化を理解させる。 ・青年期はどういう時代か理解させる。 ・現代社会の課題や特質、青年期の意義について理解させ、自己形成の課題として問題をとらえ、主体的にいかに生きるかを考える。 	期末考査の成績、課題プリント及び学習への取り組み状況で評価します。 小テストやノート提出などを評価します。	
		期末考査				
学期	月		学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第2学期	9	第3章 経済社会で生きる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済のしくみ ・国民所得と経済成長 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の問題を考える上で欠かすことのできない経済原理や制度について学習することで、現代経済の問題を主体的に考える力を養う。 ・個人や企業の経済活動における社会的責任について考察する。 ・ブラザ合意後の日本経済の歩みを、不良債権問題、金融ビッグバン、財政危機などの今日的な問題と関連させながら理解する。 	テストなどの成績、課題プリント及び学習への取り組み状況で評価します。 グループワークを通じての態度・発表・活動を評価します。	
	10		<ul style="list-style-type: none"> ・市場と政府 ・財政と財政制度 ・金融の役割 ・日本の経済成長 			
			中間考査			
	11	第4章 私たちの職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・働くということ ・多様な職業選択 ・労働者の権利 ・現代の雇用・労働問答 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の変遷と日本がめざす新しい社会「Society5.0」について理解する。 ・技術革新が進むなかでの職業選択について、多面的・多角的に考察する。 ・雇用環境の変化、現代のさまざまな労働問題、働きやすい労働環境について、実際の職業や労働のあり方とのかわりも含めて理解する。 ・国際社会の成立とその特色、国際法の意義と役割、国際社会の主体の変化などについて、実際の国際的な事象と関連させながら理解する。 	期末考査の成績、課題プリント及び学習への取り組み状況で評価します。 小テストやノート提出などを評価します。	
12	第5章 国際社会のなかで生きる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の成り立ち ・国際連合の役割 ・日本の平和主義と冷戦 ・冷戦後の世界と日本 				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期			期末考査		
	1	第3部 持続可能な社会づくりに参画するため	<ul style="list-style-type: none"> 探求のイメージをつかむ 探求プロセス 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりする。 探究の結果や自らの主張を論拠を明確にして説明したり表現したりする。 	学年末考査の成績、課題プリント及び学習への取り組み状況で評価します。
	2				小テストやノート提出などを評価します。
	3				グループワークを通じての態度・発表・活動を評価します。
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の基本的な問題と人間にかかわる事柄に対する関心が高まっているか。 主体的、意欲的に課題を追究しようとしているか。 社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしているか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の基本的な問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだしているか。 社会事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って、多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断しているか。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の基本的な問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集しているか。 学習に役立つ情報を主体的に選択し活用して、学び方を身に付けているか。 課題などを追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現できるか。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。 定期考査の成績、課題プリント・レポート、小テスト及び学習への取り組み状況で評価します。 班別討議等における発表などで総合的に判断します。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> 日々の新聞記事やニュースに関心を持って、政治・経済・社会の問題について考えて下さい。 社会生活の変化やさまざまな立場、考え方をふまえて公正に判断できるようになりましょう。 政治・経済・社会のしくみや考え方を理解し、新聞などに書かれていることを正確に読み取ることができるようになってください。 忘れ物はしないようにしましょう。(授業の道具、提出物など)
--